



アクセス



旭川 — 上川町 — 層雲峠

車／旭川北IC～上川層雲峠ICまで約30分
上川層雲峠IC～層雲峠温泉まで約25分

JR/JR 旭川駅～JR上川駅まで約40分(特急)

バス／JR 旭川駅前バスターミナル(道北バス)
～層雲峠バスターミナルまで約110分

お問合せ

自然情報

層雲峠ビズターセンター

〒078-1701 北海道上川郡上川町字層雲峠

TEL(01658)9-4400 <http://sounkyovc.net/>

観光・宿泊情報

(一社)層雲峠観光協会

〒078-1741 北海道上川郡上川町中央町605

TEL(01658)2-1811 <http://www.sounkyo.net/>

編集／層雲峠ビズターセンター

発行／層雲峠コミュニティスクール



一度は見たい北海道の原風景

層雲峠



ガイド

SOUNKYO WINTER GUIDE



大雪山国立公園・上川町層雲峠



層雲峠・雪と氷の造形美

「大雪山・層雲峠の冬」

大雪山は、冬が長く1年の半分以上が雪に覆われ、強い北西風が常に吹いています。しかし、この厳しい環境こそ大雪山特有の景観や貴重ないきものたちを育んできました。長く厳しい冬の大雪山では、他では見ることのできない壮大かつ繊細な雪氷現象が見られます。日本最大規模を誇る氷瀑群、高さ10mにもなる氷柱群など冬の層雲峠では山裾一面に雪と氷の造形美が広がります。

「日本一美しい大雪山の雪結晶」

北海道の屋根といわれる大雪山。この大雪山周辺は、日本で最も美しい雪の結晶が降る場所として知られています。長年にわたり大雪山で雪の研究を続け、雪の世界的権威となつた中谷宇吉郎博士は「雪は天から送られた手紙である」と言いました。幸い大雪山にはその手紙がたくさんあるようです。

「雪氷現象について」

雪氷現象(せっぴょう)とは、雪と氷を対象とした気象現象を総称して呼んでおり、雪、霰(ひょう)、雹(あられ)や霧氷(むひょう)、氷瀑、氷柱、フロストフラワーなどもすべて雪氷現象といわれています。



自然観察の注意点

- 国立公園では、秋～冬にかけて「狩猟区域(銃器を伴う獵)」が設定されている場所があるので、国道以外には入らないでください。
- 氷瀑・氷柱観察の際は安全の為、ヘルメット等の装備をしっかり行いましょう。
※詳細は層雲峠ビジターセンターまで。



雪氷ポイントと雪氷発生指数



雪氷発生指数

- 毎日見られる
- ほぼ見られる
- ▲ たまに見られる

期間/12月～3月下旬





層雲峠自然氷瀑群 ~日本最大規模の自然氷瀑群~

層雲峠の自然氷瀑は、国道沿いだけでも約20以上もあり、落差約10~120mの氷瀑が数多く点在しています。北海道のなかでも内陸性の気候の為、冬期は厳しく冷え込むことから、国道沿いにある数多くの滝は12月上旬にはほぼ完全結氷します。これらの自然景観は他の地域では見る事の出来ない日本最大規模を誇る自然氷瀑群となります。



ニセイノシキオマップの滝



七賢峰の滝

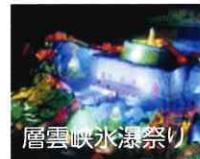


清流の滝



現地情報1

例年1月下旬から3月下旬の期間は、氷瀑祭りが石狩川沿いで行われています。



層雲峠氷瀑祭り

現地情報2

例年12月下旬から、巨大な氷壁を登るクライマー、氷瀑会場ではアイスクリミング体験(有料)ができます。



流星銀河の滝 ~日本最大規模の氷量~

流星銀河の滝は、層雲峠に懸かる多くの滝の中でも最大規模を誇る滝で、日本の滝100選にも選定されています。滝の形態は、「銀河ノ滝」が直瀑と段瀑からなる複合滝で落差は約120mとされ、氷瀑の氷量は日本最大規模を誇ります。「流星ノ滝」は、落差約90mの直瀑からなり水量が多く、勢いよく崖から垂直に落下する壯厳な滝です。



銀河の滝



現地情報1

銀河の滝では、売店やトイレがあります。
[マップコード] 623-177-890



現地情報2

駐車場から氷瀑を見ることもできますが、ビジターセンターの観察会では、氷瀑の真下まで行くことができます。



ニセイチャロマップ氷柱群 ~北海道最大規模の氷柱群~

ニセイチャロマップ川下流では、高さ約10mの氷柱が横幅約300mにわたってみることができます。これらの氷柱は岩肌からしみ出した雨水や雪解け水などが、崖から垂れ落ちる時点で寒気に晒され凍り付き、上から下へ徐々に成長したものです。長い氷柱になる為には極寒だけでなく、融けたり凍つたりといった寒暖の差が必要となります。



ニセイチャロマップ氷柱群



冠雪



現地情報1

氷柱は、例年12月上旬頃から翌年3月下旬頃まで見ることができます。
[マップコード] 743-692-824

現地情報2

氷瀑祭り期間中は、ビジターセンターで観察会が行われています。
(ヘルメット・防寒着レンタルあり・有料)



大函のフロストフラワー

ニセイチャロマップ川や石狩川では、フロストフラワーを見ることができます。フロストフラワーは霜の華とも呼ばれ、川や湖に張った氷の上で見られる事が多く、氷から昇華した水蒸気が付着しながら結晶化することで花のように見えます。フロストフラワーは、気温がマイナス10度以下で風がないときに見られる現象ですが、層雲峠では早朝から夕方にかけての長い時間に観察することができます。



フロストフラワー



現地情報1

- フロストフラワーは、早朝にみられることが多いので、防寒対策をしっかりとして観察しましょう。
- 河川沿いや駐車場は滑りやすいので、転倒しないように注意しましょう。

現地情報2

- ニセイチャロマップ氷柱群は、大函駐車場から入る林道沿いにありますが、作業等で入林できない事もあります。
- 層雲峠ビジターセンターや観光案内所で、事前に情報を得ると便利です。



黒岳五合目の霧氷と雪結晶

北海道で通常見られる雪結晶の大きさは3mm程度ですが、層雲峡周辺では約10mmの雪結晶が見られることから、大雪山は、日本一美しく大きな雪結晶が観察できる地域といえます。霧氷は氷点下の環境で空気中の過冷却水滴や水蒸気の昇華により、樹木などに付着して凍結しながら発達する着氷現象です。霧氷は気象条件により樹氷・粗氷・樹霜の3つに分類されます。



黒岳五合目の霧氷



通常の雪結晶・約3mm(実物大)
大雪山の雪結晶・約10mm(実物大)

現地情報1

きれいで大きな雪結晶は、三国峠・石北峠・黒岳5合目など標高が高い場所で観察することができます。

現地情報2

黒岳ロープウェイで、事前に情報を得ると便利です。
☎ 01658-5-3031



黒岳ロープウェイ



層雲峡いきもの歳時記 ~冬編~

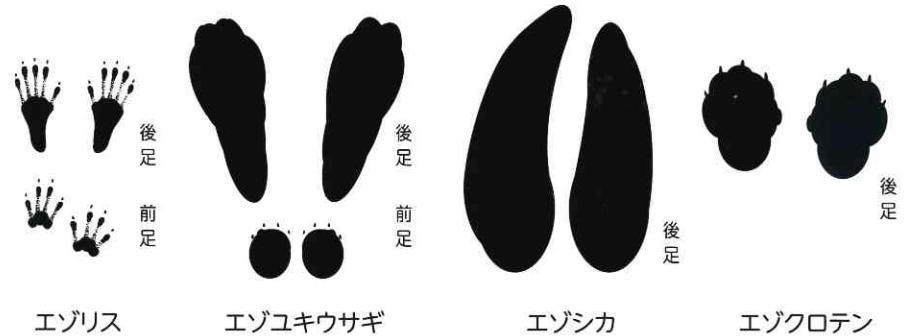
「冬のいきもの」

大雪山には、多くのいきものたちが暮らしています。夏には山の上で生活していたいきものたちも冬になると山麓まで下りてきます。冬はいきものたちを見るのに最適な時期で、足跡などの痕跡からそのいきものたちの冬の生活が見えてくるかもしれません。



「アニマルトラッキング」

雪に覆われる冬は、目には見えない動物たちの痕跡がしっかりと雪面にプリントされたように残ります。足跡や糞、食痕などを辿りながら、どんな動物がどんな行動をしているのか、隠れ上手な動物たちが少し前までそこにいたであろう痕跡を読み、観察することをアニマルトラッキングといいます。



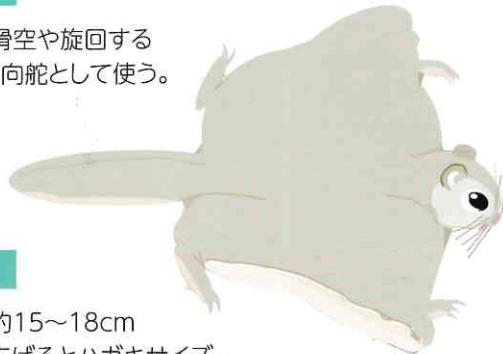


エゾモモンガ観察マニュアル

エゾモモンガは、北海道全域の低地から亜高山帯の森林に生息しており、主に日没から夜間にかけて活動します。獵師などは古くから「晩鳥(バンドリ)」と呼び、アイヌ民族は「アツ・カムイ(子供の守り神)」と呼んでいました。

尾

扁平で滑空や旋回する際に、方向舵として使う。



体

体長は約15~18cm
飛膜を広げるとハガキサイズ。

エゾモモンガの見つけかた

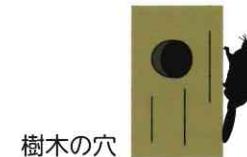
- ① 森林や林などに分布し、連続した樹木があれば人家の周りでも生息している。
- ② 樹木の芽、葉、樹皮、種子など食べており、雪面上に葉などが大量に散乱している。
- ③ 食痕は葉の軸が斜めに噛み切られていたり、葉に糸鋸のような噛み痕がある。
- ④ 粪は俵型で色は平均して黄土色や茶色をしており、大きさは8mm程度。
- ⑤ 巣穴の大きさは平均3cm前後でキツツキなどの古巣を主に利用している。



トドマツなどの食べ痕



地面に落ちたフン



エゾモモンガの活動時間

エゾモモンガの活動時間は、季節や気象により大きく変化しますが、冬期間の活動時間は春から秋に比べて短くなり、悪天日は穴から出ないこともあります。

- 活動開始時間(ねぐらを出た時間)・日没から約60分後には巣穴から出る。
- 活動終了時間(ねぐらに戻る時間)・日の出の約50分前には巣穴に戻る。

観察マナー

モモンガや営巣木に近づき過ぎないで、静かに見守るように観察しましょう。

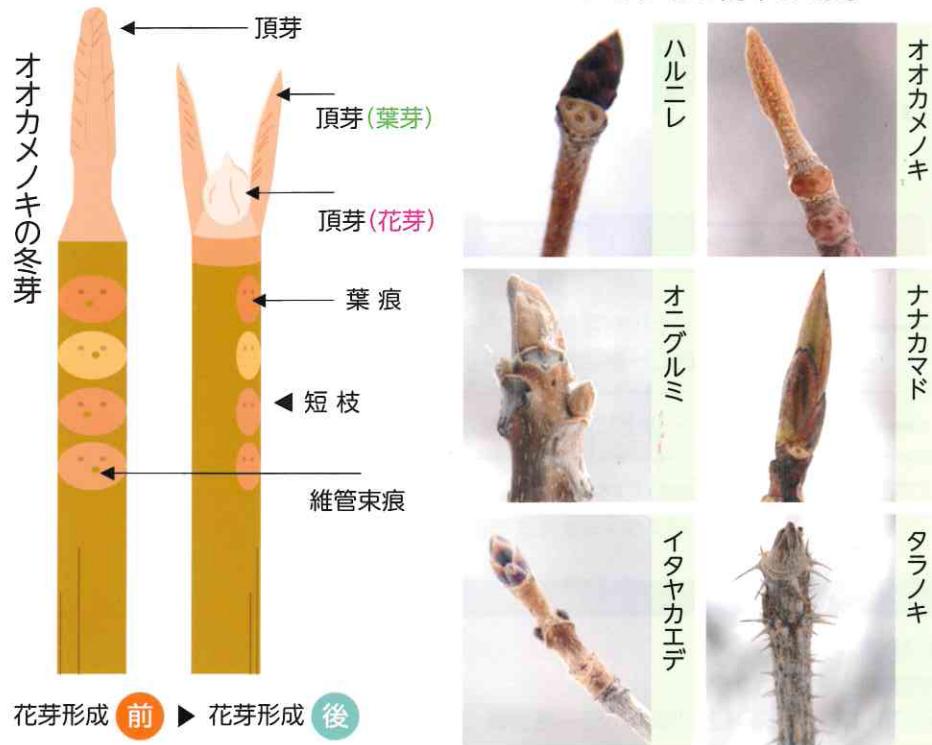


冬芽・葉痕観察マニュアル

「冬芽と葉痕」

樹木の枝先に見える顔のような跡は、葉痕といって葉が落ちた跡で、春から秋にかけて水分や養分を運んでいた管の断面です。樹木によって枝先の葉痕は様々で、ヒツジやサル、ウサギなど動物の顔に見える葉痕もあります。冬の森歩きは様々な樹木に注目してみると、新しい発見があるかもしれません。

～いろいろな樹木の冬芽～



～冬芽用語解説～

冬芽	(ふゆめ・とうが)	秋から冬にかけて休眠状態にある芽。
頂芽	(ちょうが)	枝の先端にあり、展開後に花や葉を出す冬芽。
葉芽	(ようが)	開くと葉になる冬芽。
花芽	(かが・はなめ)	花または花序になる芽。
葉痕	(ようこん)	葉が落ちた痕。
短枝	(たんし)	1年の成長量が少なく、短い節が詰まった枝。
緩管束痕	(いかんそくこん)	茎や葉柄で水分や養分の通路となる管の痕。